

# かわら版

H4.7.20

今年のワカサギ漁獲予想は以下の通り。

霞ヶ浦 380トンか  
北浦 80トンか  
130トンか

リよりワカサギ漁の解禁です。

霞ヶ浦、北浦のシンボル、ワカサギの

漁模様は私たちの気になります。

す。内水試では、7月8日早朝、

関係者の御協力を得て恒例のワカサ

ギ漁期前調査を実施しました。

その結果を表1にまとめました。

各地とも20分間の下層曳きで、

(1)内の数字は昨年の値を示します。

それとみると霞ヶ浦では、湖心への合計

漁獲量は昨年と約2割上まわる40kg

でした。その内訳をみると漁獲人が昨年の

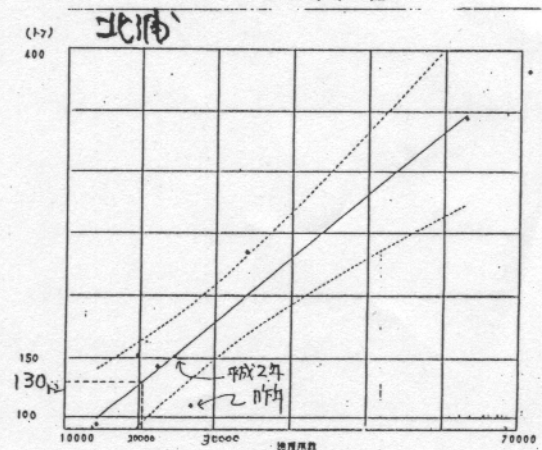
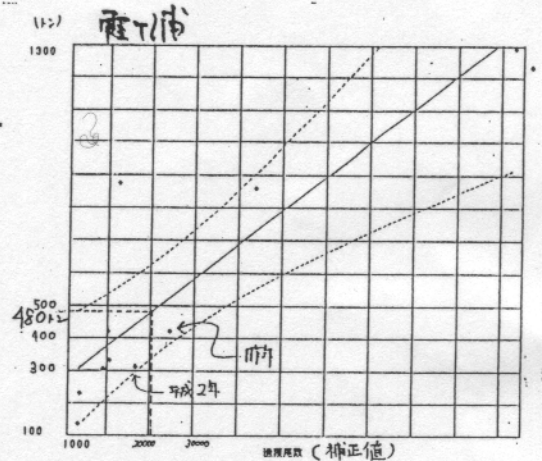
約2倍強でしたが、湖心では約半分と

片寄りがみられました。

表1 漁獲結果

地点	漁獲量(Kg)	平均体重(g)	漁獲尾数
湖心	2.4 (5.5)	2.71 (2.30)	901 (2390)
牛渡	6.4 (5.8)	2.62 (1.87)	2150 (3100)
高浜	32.5 (14.5)	2.52 (2.35)	12900 (8640)
合計	40.3 (31.6)		15800 (14100)
江川	7.0 (14.5)	1.79 (1.73)	3910 (8380)
白浜	18.5 (19.2)	1.98 (2.03)	9350 (9460)
水原	15.3 (19.0)	2.11 (2.10)	7260 (9450)
合計	40.8 (52.7)		20500 (26900)

図1 漁獲尾数と年間漁獲量との関係



北浦では江川の漁獲量が昨年の半分、その他も若干下まわり、合計で約2割減の40kgにたわりました。魚体もみずすて霞ヶ浦では昨年よりやや大きくなりました。

この結果を、試験採集結果と年内遡り量との関係を示す図1にあげてみます。霞ヶ浦では約480kg、北浦では約130kgの値が得られます。しかしこの値はやや高めと考えられます。

理由の一つとしては、2月から5月にかけて行ったワカサギ漁獲調査結果では図2に示すように今年も霞ヶ浦、北浦とも昨年より昨年ほど稚魚がみられなかったかたが、

こうした状況を考えあわせると、今年の漁獲量は図2の値より低め、昨年並程度になるのではと思われ、霞ヶ浦では380トン、北浦は80トンと判断しました。

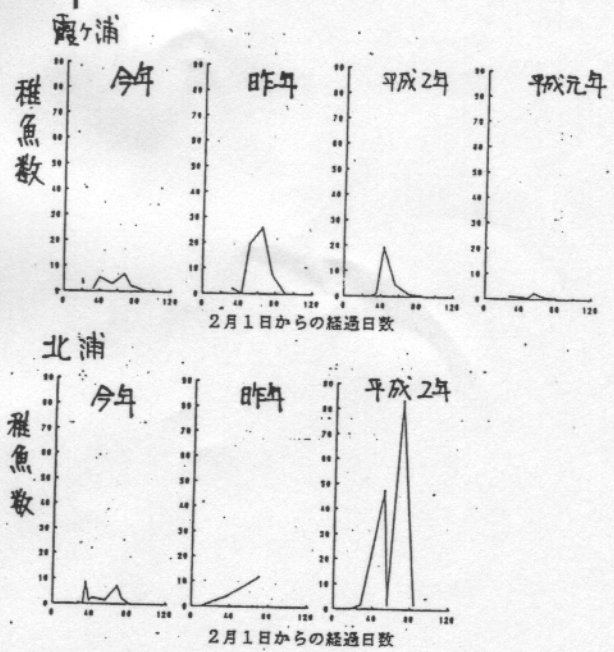


図2. 稚魚出現状況